

醍醐コミュニティバスに関する情報

醍醐コミュニティバスに関しまして、いろいろとご協力いただきまして誠にありがとうございます。本日は、醍醐コミュニティバスの利用者数などに関する情報をお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

●醍醐コミュニティバスの利用者数は、3月7日までに1万人を突破しました。

●日々の利用者数は下記のように推移しています。

・運行初日（2月16日）および醍醐寺五大力尊の日には、利用者数が1000人を越えました。

・通常の平日は450～480人前後で、徐々に増加する傾向がみられます。当面の目標の500人にあとわずかとなっています。

・土日はこれまでは少なく、300人前後です。コミュニティバスは、病院が休みの日には利用者が減るのが一般的ですので、ある程度予想通りの傾向です。しかしながら、醍醐寺・隨心院方面の路線は、観光利用も望めますので、これから暖かくなるとともに、観光客に定着してくることによって、増加することを期待しています。特に、これからは隨心院の梅、醍醐寺の桜の季節であり、3月13日からはカルティエ宝飾展が醍醐寺で開催されます。この時期に、土日の利用を促進できるように努力していきます。

●時間帯別のご利用者数は、下記のような状況です。（別紙に時間帯別利用者の図）

・ご利用が1番多いのは午後2時台で、午後3時台、午後1時台、午前11時台、午前10時台がそれに続きます。

・この傾向からは、買い物や通院のためのご利用が多いものと推察できます。通勤時間帯のご利用が比較的少ないように、これまでの公共交通とは異なるニーズに対応しているものと思われれます。

・一般のコミュニティバスと比較して午後のご利用が比較的多い傾向にあるようです。1日券を活用して地域内の移動性・回遊性が高まっているのではないかと推測します。

・なお、3号路線に使用しているマイクロバスにはカウンターがありませんが、3号路線も同様の傾向にあると考えられます。

●路線別の利用者数は、ほぼ拮抗しています。どの路線もそれぞれのニーズがあり、路線間の大きな違いはありません。

(参考) 利用者数の計算方法

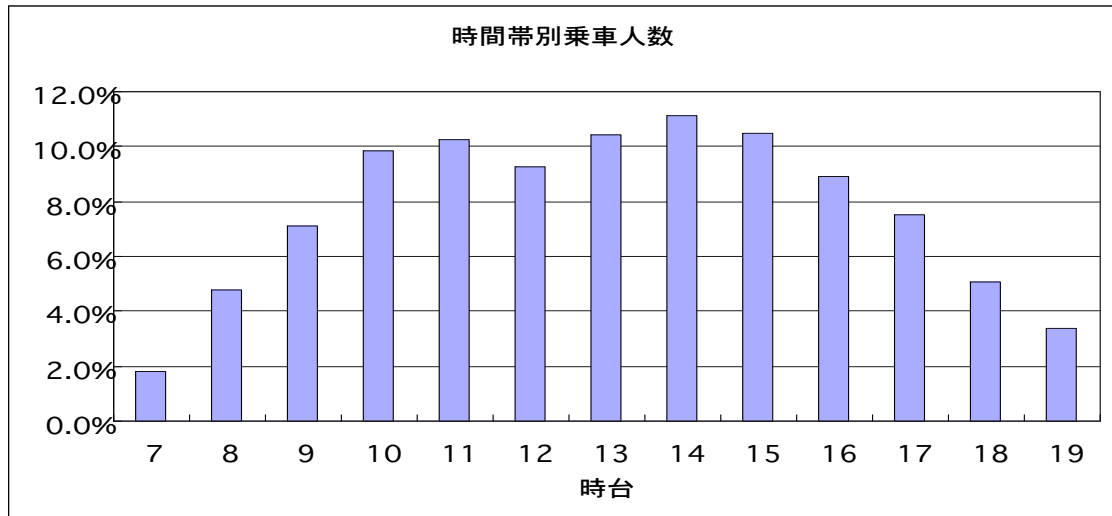
利用者数の全数調査は不可能ですので、下記の方法によって利用者数を推計しています。

- ・利用者数を推計する方法としては、バスに搭載しているカウンターによる方法と、1日券の売上げ枚数等から計算する方法が考えられます。他に、係員が実測する方法がありますが、現在までのところ実測を行なったのは五大力尊当日のみです。
- ・バスに搭載しているカウンターによる方法の場合、3号路線はカウントしていませんので含まれません。
- ・1日券の売上げ枚数等から算出する場合には、1枚の1日券で平均何回ご乗車いただいているかという数値が必要になります。データが蓄積してくればこの数値を比較的正確に推定することが可能になりますが、現時点では仮定の数値を用いる必要があります。
- ・以上により、今回の利用者数は1日券の売上げ枚数等から求める方法を基本として、カウンターによる方法で検証する方式を採用しました。1日券による平均利用回数は3.5回に設定しています。この数値から求めた利用者数は、カウンターによる利用者数よりも小さくなりますが、過大な推計とならないように設定しました。
- ・この方法によって求めた利用者数の合計は、2月16日から3月7日までの21日間で、10252人、1日平均488人となります。
- ・なお、カウンターによる利用回数は、3号路線を除いた3路線の合計だけで1日平均500人を越えていますので、実際の乗車人数は、今回の推計方法よりも多い可能性があります。1日券がかなり活用されているのではないかと推察されます。

醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会

ヤサカバス

ご連絡先 醍醐コミュニティバス事務局 075-575-2616



醍醐コミュニティバスの時間帯別利用者数の分布

- ・ 2月16日から3月5日までのデータから作成
- ・ 小型バス（3両）によるデータです。3号路線に利用しているマイクロバス、および通常車両の点検時等に臨時的に用いた車両ではカウントしていませんので含まれていません。